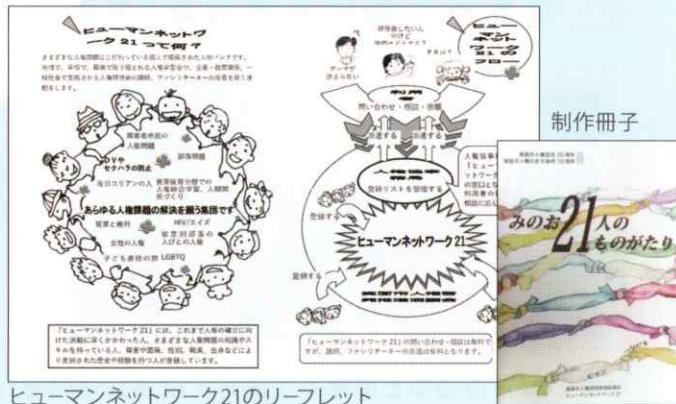


SUPPORT INFORMATION

人権協が提供している活動支援の内容をご紹介します。



ヒューマンネットワーク21のリーフレット



「ヒューム」は、らいとぴあ21の2階(人権協事務所の隣)にあります。



購入したDVDや寄贈いただいた本などが
「ひゅーまん」に常設されています。

市民から寄せられたさまざまな人権問題に関するエピソードをまとめた出版物の制作も行っています。詳しくは人権協までお問い合わせください。



箕面市人権啓発推進協議会 ニュースレター

発行:箕面市人権啓発推進協議会
大阪府箕面市萱野1-19-4
箕面市立萱野中央人権文化センター
(らいとぴあ21) 2F

お問い合わせ・ご相談はどちらから
072-722-2470
FAX:072-734-6509
✉ jinken-jimu-minoh@silk.ocn.ne.jp

箕面市人権啓発推進協議会について詳しくはwebサイトへ
<http://wat-minoh.sakura.ne.jp/>

箕面市人権啓発推進協議会



検索

箕面市人権啓発推進協議会

ニュースレター

vol.29
2021.07発行

「わっと」は当協議会の愛称です。人権ってなに?の「What」と、人権の輪が「わっと」広がってほしいという願いが込められています。



箕面市人権啓発推進協議会 相談役(元会長)、なかの ただし
元箕面市教育長、元箕面市社会福祉協議会監事 **仲野公さん**

1944年大阪府箕面市に農家の長男として生まれる。1964年に箕面市役所に奉職、農業委員会事務局や競艇事業部などに在籍の後、健康福祉部の14年間で課長補佐から部長までを歴任。教育委員会では事務局次長を勤める。市役所を退任後、2010年から6年間、当協議会会长に就任。退任後2016年から相談役を勤める。

東日本大震災の現状を箕面に持ち帰り広く市民に周知する必要があるとの思いから、訪問を報告書に取りまとめ関係者に配布したり、人権フォーラムや人権学習会で被災者のお話を伺うことにも力を入れてきました。

Q.仲野さんが考える、人権協の今後は?

時代が変わっても、毎日のように全国各地で人権にかかわる事件が発生しています。これらの背景には、在日外国人問題、就労問題、いじめや児童虐待など多くの問題が含まれており、これからまちづくりを進めていく上で人権という視点を今一度見直し、基本に据えて考えていく必要があります。人権協がめざす社会とは、差別のない、誰もが安心して住み続けることのできる社会であり、一人ひとりを大切にした、社会的包摂の考え方に基盤を持つ社会です。そこをめざして、身の回りの社会に目を配り、気を配り、心を配る。日々から話しやすい環境を作る。そんな活動を、今後も市民のみなさまと共に続けていきたいと思います。

箕面のまちは、人権と共に。
社会に目を配り、気を配り、心を配ろう。

Q.箕面市人権啓発推進協議会が立ち上がった頃から今までのお話を聞かせください

私は箕面に生まれ育つて市役所に職員として長年お世話になり、教育長を最後に退任したわけですが、人権協については特に深い思いがあります。人権協が発足された1978年は「らいとぴあ21」がリニューアルされる前の萱野文化会館・青少年会館で庶務係長として勤務をしていました。「同和問題をはじめあらゆる差別をなくすには、広く市民に差別の実態を正しく理解してもらう必要がある」との考えから「人権啓発推進協議会」の発足準備をしていた部落解放同盟北芝支部のみなさんの議論にも加わり、初代会長の笹川弁護士さんに就任のお願いにも同行するなど、多少なりとも立ち上げに関わらせていただきました。その後も人権協の発展とともに勉強をさせていただき、今は相談役をお引き受けしています。さまざまな人権課題の解決に向けた4部会の立ち上がりや、教育・行政・各種NPO活動が連携して人権確立に向けた取り組みを行う「ヒューマンネットワーク21」づくりのこともありますと覚えています。人権フォーラムに人が集まらず講師に苦言を呈されたことも、忘れない思い出のひとつですね(笑)。またここ10年は、